

組見本（60%）

脚註等を補い、同異を詳説（『讃歌親史多天彌勸菩薩傳鈔玄意』）

本文（翻刻頁）

12變¹易²一³生死苦故名云解脱也亦福智⁴二德及斷惑⁵圓滿故云圓
三德又解自受用身即圓三身菩薩故云圓三德也如心地觀
經云三僧祇⁶耶大劫中具修百千⁷諸苦行功德圓滿法界十
地究竟證三身⁸言湛然常住無變異者此明理法身軀也此
則所依真身也謂應化二身之所依真軀是也言巧會根機現
妙影者明現用義也⁹由所依真理而能現應化二身影像用
而利益諸衆生也理法身義如心地觀經云法身軀偏¹⁰諸衆生
万德凝然性常住不生不滅無來去一不異非斷常法界偏¹¹

本文（資料頁）

系図および年譜ほか、豊富な資料を付す

本文（論文頁）

また、済暹開基の慈尊院は華藏院を模しているともいわれている。このような済暹と華藏院との強い
かわりあいが見られること、また同じ「済」という文字が用いられていること等を考慮すれば、成立
年代が江戸時代後期ではあるが、『野澤血脈集』の記述にみられるように、済暹は済延入室の弟子と考
えて差し支えないと思われる。

次に、済暹がわれわれにその足跡を見せるのは天喜四年（一〇五六）である。この年の八月十日に弥
勒の往生信仰に関する著作『讃歌親史多天彌勸菩薩傳鈔玄意』を著している。時に済暹三十二歳である。
さらに、承暦三年（一〇七九）には済暹最大の功績と称される『統遍照發擇性靈集補闕鈔』三巻を編じ
ている。『統遍照發擇性靈集』は空海の詩文を真済（八〇一・八六〇）が編纂したものであるが、当時巻
八・九・十が散逸していたのを済暹が巻八以下を『性靈集補闕鈔』として再編纂し完全なものとしたの
である。現在もこの済暹の努力によって、我々は空海の生涯と文庫を知ることができるのである。

これ以降、済暹の活躍がみられるのは各種の法要や灌頂への出仕である。これらを整理すれば、
①性信あるいは覺行法親王が、導師をつとめた孔雀經法・五壇法への出仕
②東寺結縁灌頂への出仕
③堀河天皇の葬送から一周忌に至るまでの御同向
などに分類することができる。このうち①にあげた性信と覺行法親王とは、法要の出仕だけではなく済
暹に多大な影響を与えている。

仁和寺二世御室性信（一〇五二・一〇八五）は、応徳元年（一〇八四）仁和寺北院において灌頂を済

西暦	和暦	済暹関連	その他の事項	天皇	上皇	摂政	東寺	金剛	仁和	醍醐	東大	南無
一〇五五	万寿二	文綱の子として生まれる		後一 天皇	白河	藤原 頼通	深見 基家	性信	寛源	親良	扶	
一〇六六	万壽三		正月、長寺寺主失 職、深見より灌頂 を受ける	皇								
一〇六六	万壽三		三月、法成寺阿闍梨 を改定、眞言供養 を行う									
一〇六六	万壽三		五月、深見、肇事を許 される									
一〇六七	万壽四		上東門院出家 御影を高山山奥院 に遷す									
一〇六八	万壽五		三月、延暦寺近江院 を供養、五大弘勸 像安置									
一〇六八	万壽五		八月、奉迎道長、法成 寺・法成寺供養									
一〇六八	万壽五		十二月、通長、法成寺 阿闍梨に就任									
一〇六八	万壽五		四月、仁海、神皇苑に 請雨法を修す									
一〇六八	万壽五		五月、天台座主院遷没 す									
一〇六八	万壽五		六月、仁海、東大寺別 当に補される									
一〇六八	万壽五		六月、仁和寺北院大僧 当に補される									

□著者略歴□

堀内規之（ほりうち・のりゆき）

昭和四十一年 群馬県に生まれる／群馬県立高崎高等学校卒業の後、
大正大学仏教学部仏教学科真言学に入學／大正大学大学院文学研究
科博士課程仏教学満期退學
平成二十年十一月二十六日 大正大学より博士（仏教学）を授与される
現在 延命密院住職・大正大学講師
真言豊山派総合研究院院宗学研究常勤研究員

堀内規之

済暹教学の研究

院政期真言密教の諸問題――

「只大師の典籍を崇重」する
その一念に貫かれた院政期の学僧・済暹の
生涯にわたる全思想の営みを
真摯にたどり窮めつくした書

新出の著作
六本を翻刻

A5判・上製・クロス装・貼箱入
定価 25200 円（税込）
ISBN978-4-903470-40-5

ノンブル社

♣ご注文・お問合せは下記へお願いします

図書出版 **ノンブル社**

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 1-8-22-2 F
電話 03-3203-3357 FAX 03-3203-2156